

1. 調査報告概要表

作成日 平成 21 年 10 月 15 日

【評価実施概要】

事業所番号	3470204649
法人名	社会福祉法人 平和会
事業所名	グループホーム さつき
所在地	広島市佐伯区五月が丘5丁目2-3 TEL 082-941-7088
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4丁目46-9
訪問調査日	平成21年10月8日

【情報提供票より】21年9月5日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 16 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 5 人, 非常勤 9 人, 常勤換算	13

(2)建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	3 階建ての 1 階 ~ 3 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	24,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食 200 円	昼食 500 円	
	夕食 500 円	おやつ 100 円	
	または1日当たり 円		

(4)利用 9月5日現在

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	5 名	要介護2	9 名
要介護3	3 名	要介護4	名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢	平均 86 歳	最低 76 歳	最高 92 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人サツキ会 津元クリニック 岡田歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームさつきは、空き店舗も散在している静かな団地の商店街の一角に位置しています。建物後部には桜の豊富な公園があり自然の恵みを日常のケアに利用されながら支援がされています。認知症介護の現場を長期に経験されて認知症介護に情熱を持たれている管理者を中心にしてスタッフ一同の協働の輪の中で温かい介護が続けられています。開設当初より地域社協の先導的な理解も得られて日常的に近隣者との自然な交流も行われています。又バス停に近い事で家族の訪問を至便にしています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回でも高く評価された、地域に親しみを持って受け入れられ、利用者の笑顔が溢れているホームの特色はしっかりと引き継がれ、管理者、職員協働でサービスの質の向上に取り組まれている
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	現場経験の豊かな管理者は今回の評価について真摯に対応され、各ユニットの主だった職員との協議を重ねつつ、自己評価に取り組まれサービスの向上に繋がられている
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議への取り組みは能動的で、多岐に亘る地域の人材の参加が得られ、会議の内容もホーム内の見学やレクリエーションへの参加等工夫されて実情報告とされている。今後の課題として議事録を継続して残されることが望まれます
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族よりの苦情は連絡ノートで職員全員で共有し改善に努めている。「気軽に意見や苦情が言えるホームである」と、殆どの家族よりのアンケートで寄せられている。毎月近況写真を同封して生活状況、健康状態等の報告を家族へ届け、家族より信頼を得ている
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域社協との関わりを密にされており、町内会行事、忘年会、夜回り等に管理者は参加し、日常的に交流を深められている。地域より各行事の案内が詳細に寄せられ、利用者は気軽に参加できる環境が保たれている

2. 調査報告書

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着の意思表示を明確にされた理念が表示されて、職員で共有されている		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者も職員も理念に基づいて日常業務に実践されている場面はあるが、言葉表現の明確さには至っていない。	○	理念の実行をより充実するために、引き継ぎなどの時間に唱和されることが望まれます
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域社協との関わりを密にされており、町内会行事、忘年会、夜回り等管理者は積極的に参加し、日常的に地域交流を深められている。地域より各行事の声かけをされている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は特に評価を前向きに捉えられ、サービスの質の向上への機会とされ、職員全員の意識改革にもつなげる取り組みとされている		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議への取り組みは大変能動的で地域の多岐に亘る人材が参加され、会議の内容もホーム行事の見学会やリクレーションへの参加等工夫がされている。	○	運営推進会議の意義をより充実されるために、議事録を充実をされ次回開催への問題提議に役立たせられる事が望まれます

グループホーム さつき

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括センターと常に連携が密に取られ疑問事項の解決に努められている、市主催の研修等に参加している		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らし方や健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月家族宛てに出納内容や近況写真を載せた便りが届けられ家族より信頼を得ている。	○	毎月近況写真を届けられるサービスは家族の安心が得られている事として特記したい
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	気軽に意見が述べ易い雰囲気がある事が多数の家族アンケートで寄せられている		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	同じ団地内の系列施設と連携して職員の異動を最小限に留める努力がされている、担当制であるが全員で円滑に引き継ぎを行う工夫をしている	○	利用者に馴染みある現場経験の豊富な管理者が欠員の補充を自然体で対応し、異動のダメージを和らげている
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は職員が段階に応じて参加し、同系列施設との施設内研修には定期的に参加している。新人育成ノートが活用され新人の仕事への達成度に役立たせている		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質の向上させていく取組みをしている	系列施設の職員間の交流は研修時等で行われるが、他の同業者との交流は行われていない	○	同業者間の職員の交流をされ学びの場を広げられて、サービスの質の向上に努められる事が望めます

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と連携しつつ利用者の生活ペースに合わせて、サービスの開始をしている、職員は担当制にして自己決定を大切にしつつ馴染めるように支援している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の個々の得意分野を発揮してもらい、その方が中心になって料理や趣味を行ってもらうこともある		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	外出、遊歩、外食を希望する方に対し、後見人との合意のもとに、他のサービス業者に依頼し1対1の外出支援を1週間に1回の周期で行い喜ばれている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	3か月に1回カンファレンスは行われ、担当職員の意見が反映された介護計画がたてられている		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日常の連絡は家族と電話で密に行い、十分に話し合いのもとに計画の見直しをしている		

グループホーム さつき

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	地域になじまれているホームの特徴を生かされ、地域社協の主催するサロン等にも利用者が参加している。系列施設や協力医院との連携が日常的な安心感となっている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への通院は職員が同行し、以前より継続されている医療機関には家族の協力を得て通院されている		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期については医療機関に対応は任せる方針である、入所時に家族と十分に話し合いが持たれ、緊急時の医療機関への対応を取り決めている		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常生活の中で個人が尊重された声かけがされ、穏やかな雰囲気を作られている、個人情報の書類は保管庫で慎重に管理されている		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	手芸や習字等個々の方の要望に職員が寄り添って支援され、いろいろな作品を完成させて、遣り甲斐を持たされている。自室やリビングに作品が飾られて、季節感も醸しだされている		

グループホーム さつき

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	ヲ 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備 や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや、食事の前の準備等の利用者の活力 に合わせて職員と協働で行われ、後片付け等もその日 の状況でされる利用者もある		
23	57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわず に、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入 浴を楽しめるように支援している	週に3～4回を目安に要望に応じて入浴されている、入 浴を拒む方には声かけを工夫して入浴支援を行っている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみご と、気晴らしの支援をしている	入居当初のアセスメントや日常会話の中から、楽しみご とや役割をケアプランに取り入れ、買い物や散歩に応 じている。野菜や草花への散水を日常的にされる方も ある		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその 日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援 している	レクリエーションにも散歩を取り入れ、出来なかった時は 後日に実行するなどして、なるべく外出の回数を多く するよう努めている。本人の希望で他のサービス業者 に依頼して外出される利用者もある		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵 をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけない ケアに取り組んでいる	出入り口は電子ロックとなって職員が希望に応じて即 刻に開閉している、安全上本人や家族の了解を得て 施錠されている	○	居室が2階と3階に位置し安全上やむを得ない点もあるが 個別の見守りを十分されつつ解放の方針がされることが 望まれます
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより 地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の防災訓練が行われ地域や町内会とも協力体 制が得られている		

グループホーム さつき

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量水分摂取量が記録され管理されているアレルギー代替え食も考慮されている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	2階は「和」3階は「洋」の雰囲気でもとめられ、季節感のある装飾で演出されている、両面に大きめの窓があり自然の採光で明るいリビングとなっている		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	殆どの利用者は自宅より使い慣れた家具や椅子等持ち込まれ、自作の手芸品を飾られるなど、定住感が窺えた	○	入居日数の浅い利用者の居室は不穏行動がある為、生活家財が置けない現状があるが、管理者や職員の協働で穏やかなホームでの生活をされる工夫が続けられている